

ゴキブリ、ハクビシンと合わなくなった(私の敵対策)

私の敵といっても人間のことでありません。害虫、害獣、対策などのことです。わたくしは現在 79 歳ですが、これまで特にゴキブリ、蟻、ハクビシン、雑草などの敵と戦ってきました。最近になっていくつかの成果が得られたので、以下に記述してみます。

1. ゴキブリ対策(ゴキブリが 1 年出なくなる)

ゴキブリにはずいぶん悩まされてきましたが、最近「ゴキブリファイタープロ 1 年いなくなる」というゴキブリ誘引殺虫剤を試したところ、本当にゴキブリが出なくなりました。昨年(2011)11 月ごろこれを設置したところ本当にゴキブリが出なくなりました。実は、これまでの 1 年間で 2 回ゴキブリが現れましたがどちらも元気がなく、一度現れた後は見当たらなくなりました。その後現在(2023 年 1 月)までゴキブリと遭遇していません。

以前は夏になると必ずほとんど毎日ゴキブリに遭遇しました。わたくしは二階を居室にしていますが、部屋から廊下に出ると、明かりが自動的に点灯しますが、そのタイミングで敵が逃げ回りますわたくしはすぐに殺虫剤を片手に追いかけ、隅に隠れた敵に噴霧します。敵はすぐにダウンします。

ある時はベッドに寝ていると手首などをかまれて飛び起きたこともあります。その後はベッドの下にゴキブリホイホイを置いたり、寝室にゴキブリが入らないように部屋の隙間を埋めたり、部屋のどこかに卵があるのではないかと考えてアースレッドという商品名の噴霧殺虫剤を使いましたが、効果は限定的でした。ゴキブリホイホイは確かに多くの敵を捕獲できましたが、ゴキブリのとの遭遇回数が減るという印象はありませんでした。

そんなある日自宅の近くに開店した薬のアオキという店でゴキブリ対策グッズを見ていた時「ゴキブリファイタープロ」が目にとまりました。実はこれより何年か前に NHK の TV 番組でゴキブリ対策を見たことがあり、たしかこの時「ゴキブリが 1 年出なくなる」というようなことを聞いた気がします。このときはどうせ効き目は少ないだろうと判断してそのままの状態でした。どういう心境かこの時は、これを試してみようと考えました。

人間どんな時でも、良いことも悪いことも、自分の脳がそのように考えない限りその方向には進まないものだ、よくよく考えさせられた一件でした。今はゴキブリと遭遇しない平和な毎日を送っています。



図 1-1 ゴキブリファイタープロ



図 1-2 ゴキブリホイホイ



図 1-3 アースレッド

こんなに良く効くものがなんでできているのか興味がわき、調べたところ、fipronil(フィプロニル)という有名な薬品であることが分かりました。この薬品は神経伝達物質である GABA(Gamma-Aminobutyric Acid)の作用を阻害してしまうという恐ろしいものです。ゴキブリだけでなく蚤、シラミ、シロアリ、スズメバチその他多くの不快害虫の殺虫剤として用いられているようです。この薬の効果は遅効性であるため本剤を餌とともに摂食した個体は致死までに帰巢できることが特徴で、帰巢した個体の糞や死骸をその他の個体が摂取することで巣全体へ効果が拡散する、ドミノ効果があるのが特徴のようです。私がゴキブリファイター設置後確認した2匹は確かに元気ありませんでした。薬を食べて帰巢の途中のゴキブリさんだったのでしょうか。

2 ハクビシン対策(ため糞が無くなった)

私とハクビシンの関係も古く、かつて家の天井裏に入り込んだその個体を排除するまでに5年掛かりました。(h-hirose.com,随筆、ハクビシンとの戦い)その後自宅の屋根裏には来なくなりましたが、屋上の片隅にため糞ができるようになりました。ため糞だけならば、被害はそれ程大きくはありませんが、キウイが食べごろになった時、庭の畑にトマトやトウモロコシなどが実った時、ミカンやイチジクなどが食べごろになると必ずやってきます。

食害だけでなく、自分の糞を一定の場所にためる習性(ため糞)があるようです。これは他の動物と同様に縄張りを示すものと思いますが、家の屋上にこれをやられて困りました。



図 2-1 ハクビシンため糞(自宅屋上)

ハクビシンが来なくなる方法はないか Net で調べたところ、いろいろな手段がありましたが、これらの中で「ハクビシンはなぜ逃げる」という商品を試しました。商品は赤い大きな札のようなものに ハクビシンなどが忌避する素材を複数塗りこんだようなものです。図 2-2 に商品についていた説明書を図 2-3 に実際設置した状況を示します。

ビシンの鼻の高さに相当するようです。

図 2-3 は設置した模様を示します。設置場所は落花生畑の脇です。昨年ハクビシンやカラスに食べられたので、今年はネットで囲みました。このネットによりカラスの食害は防止できます。ハクビシンも入ってきていないようでしたが、試しにネットの外に「ハクビシンはなぜ逃げる」を設置しました。その後はネットの中の落花生だけでなく、その周りの果樹などにもハクビシンが来た形跡は確認できませんでした。家の屋上にもため糞が確認できませんでした。図 2-4 にかつてため糞のあった場所を示します。鳥がつついたキウイはありますが、ため糞はありません。



図 2-4 屋上にため糞はない(キウイは鳥が食べた後)

その他、ハクビシンが来た形跡は確認できませんでした。以上の結果から「ハクビシンはなぜ逃げる」は効果があったと考えられます。

購入時にこのような効果は期待できないと考えて、10 枚入りの高いものを求めましたが、試しに取り付けた 4 枚で十分結果が得られました。現在はゴキブリだけでなくハクビシンも現れない生活を送っています。

以前にハクビシンを屋根裏から退治した場合は、とにかく侵入口を無くすることに集中しましたが、いま「ハクビシンはなぜ逃げる」の効果を実感すると、この方法を使えば簡単に解決できたのではないかと感じます。

3 蟻対策

蟻が居ない庭にすることはできませんでした。全滅作戦はできませんでした。従来試した方法などは以下の通りです。

- ① 粉末殺虫剤
- ② スプレー式殺虫剤
- ③ 蟻に食べさせて巣まで全滅させる(ゴキブリが出なくなると同じ fipronil を使っていると思われる)
- ① はアリの巣などに撒くと確かに効果はありましたが、蟻が出なくなるという状態は作れませんでした。木に登るありを防止するため根元に大量に撒いたりもしましたが、効果は限定的でした。
- ② のスプレー式の殺虫剤は良く効きますが、全滅はできませんでした。蟻が一発で死ぬという強力な殺虫剤のスプレーで根気よく全滅作戦(毎日庭に出てありを見つけたら噴霧する)を続けましたが、蟻の数に負けました。確かこの年に生まれて初めて目眩がすることがありました。眼科で検査していただいたところ、脳の問題ではなく、原因はわからないと言われました。私の素人判断では、この強力蟻退治用のスプレーが関係しているのではないかと思いました。毒物を吸引すると目眩が起こるという事例はないのでしょうか。原因究明は確かではありませんでしたが、私はこの時以来 殺虫剤などを用いるときは必ずマスクをするようにしています。
- ③ のスプロニールを用いている餌を食べさせる方法はゴキブリの時のようにうまくいきませんでした。蟻は私の庭(約 50~60 坪)の至る所に巣を作るので、ゴキブリのように移動経路が定まらないこと。殺虫剤を含む餌以外に多くの餌が庭にはあるので薬を食べてくれないこと。などがゴキブリと違う点のように思います。

以上のように蟻全滅作戦はうまくいきませんでした。現在私が蟻対策として実施していることは以下の通りです。

- (1) 冬に柿、リンゴ、梅、柚子、キウイその他にマシンオイルを散布する・
- (2) 木の芽が芽吹いた後は木に登る蟻を見つけたら、蟻に蜜を与える害虫そのものを駆除する。必ず初期に対処する。
- (3) 花や野菜など低木についても同様に対処する。

現在はこの方法でかなり蟻の数を抑えることができています。蟻の餌を徹底的に排除することで、蟻の数は気にならないほど抑えることができています。

2023 年 1 月原稿完